

くみあい

# アヅミン

# なるほど ガイド

ご存知ですか？



製造

**Denka**  
デンカ株式会社



## アヅミンとは？

アヅミンは肥料取締法に基づく「腐植酸苦土肥料」と地力増進法に基づく「腐植酸質資材」の2つの認定を受けた数少ない資材です。

肥料登録と土づくり資材の指定を受けています

袋の裏面に表示してあります。

### 地力増進法に基づく表示

土壌改良資材  
の 種 類 腐植酸質資材

### 生産業者保証書

登録番号 生第83969号  
肥料の種類 腐植酸苦土肥料  
肥料の名称 3.0腐植酸苦土肥料

## アヅミンの成分

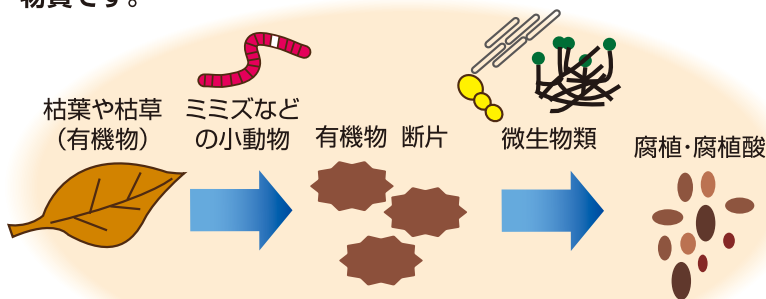
腐植酸を**50%**含んでいるのが特長です。

保証成分		含有成分
＜溶性苦土	水溶性苦土	腐植酸
3%	1%	約 <b>50%</b>



## アヅミンの主成分である腐植酸とは？

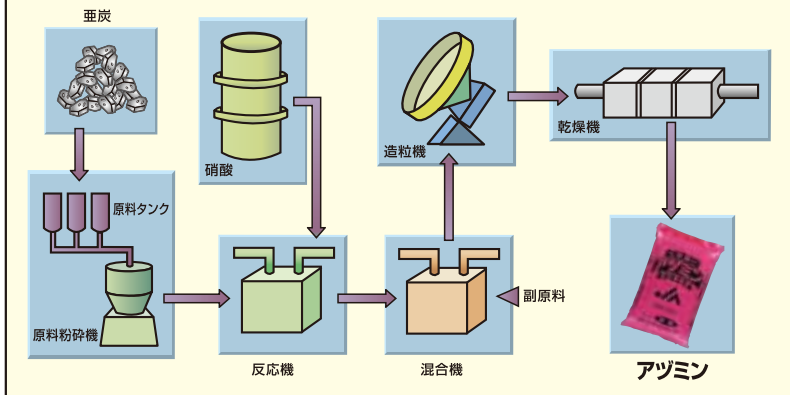
腐植酸は土壤に含まれる有機物の中で、様々な効果を持つ黒色の物質です。



土壤の**緩衝能、保肥力、保水性、通気性**を高めます！

## アヅミンの作り方

### アヅミンのできるまで(製造工程例)



植物の遺体などからなる**亜炭**を硝酸で酸化分解し「腐植酸」を生成します。この腐植酸を苦土源で中和反応させ、造粒・乾燥させ製造しています。

## アヅミンの腐植酸の特長

水に**溶解しやすい腐植酸**を多く含むため、分散し易く作物の根の活性を高めたり、石灰浸透をたすける活性の高い腐植酸です。

アヅミン



堆肥



黒ボク土



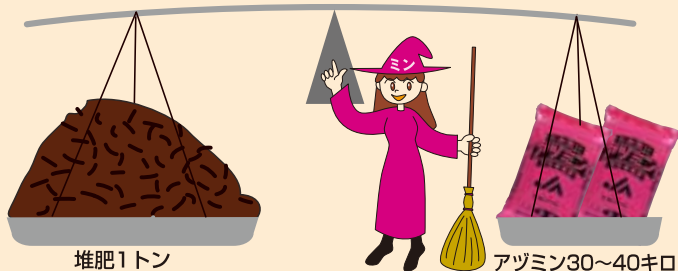
10日間静置(資材10gと蒸留水200ml)

# アヅミン4つの効果

## 1.地力を高めます。

土壤に腐植酸を施用すると ①土が柔らかくなる ②肥え持ちがよくなる ③微生物がバランスよく生息出来るようになり、地力の高い(作物を作りやすい)土になります。

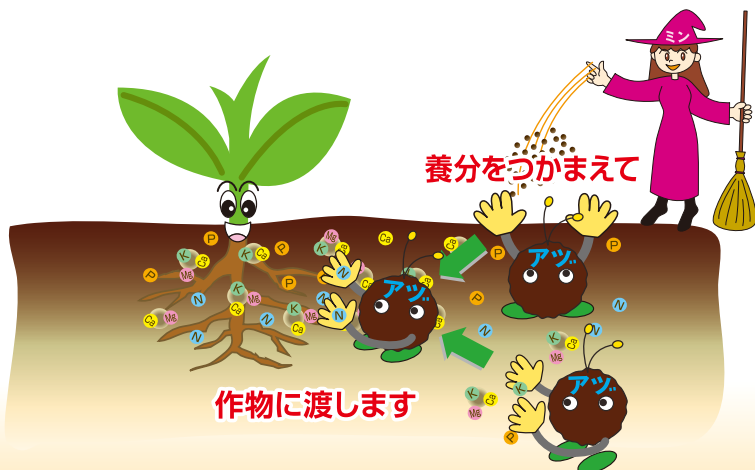
堆肥1t分の腐植酸を  
アヅミン30~40kgで簡単補給!



一般的な堆肥に含まれる腐植酸は1.8%です。1t施用すると腐植酸を15~20kg施用出来ます。アヅミンは腐植酸を約50%含んでいるので、30~40kgの施用で堆肥1t分の腐植酸を補給できます。

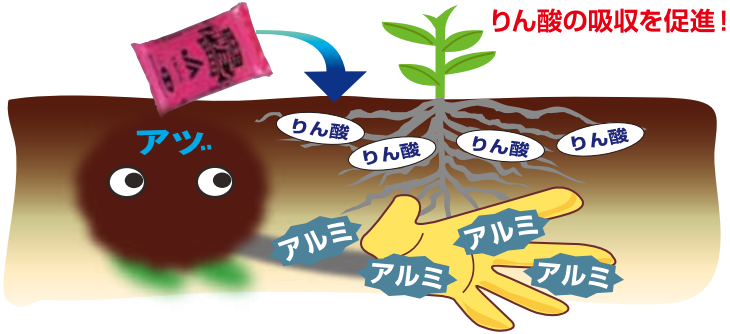
## 2.肥料の効果を高めます。

①肥料成分の流亡を抑え、ムダなく作物に吸収させます。

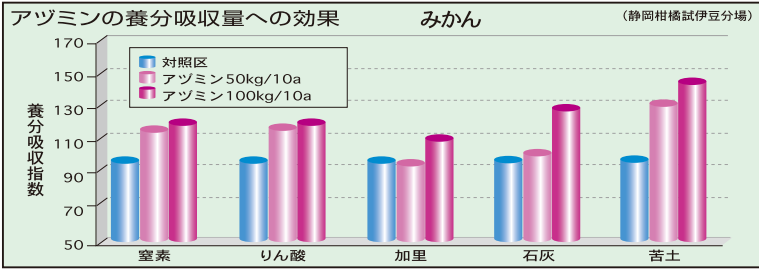
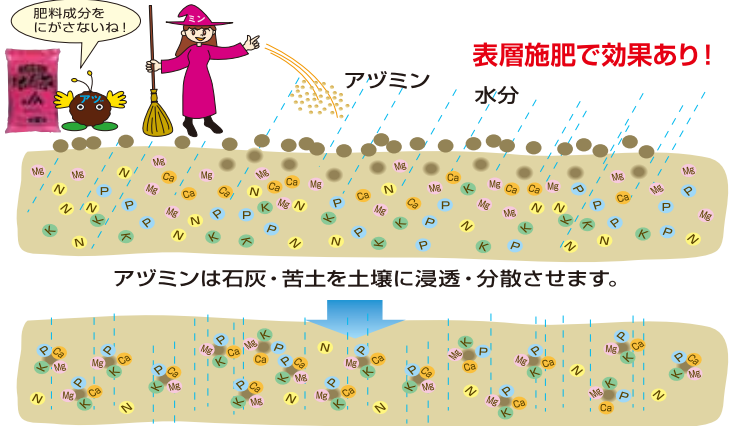


## ②リン酸の固定を抑制し、ムダにしません。

りん酸は、鉄やアルミニウムと結合すると不溶化し、作物が利用できなくなります(リン酸固定)。腐植酸は、鉄やアルミニウムとキレート結合して、リン酸との結合を防ぎ、作物への吸収を改善します。



## ③石灰・苦土を浸透させ、効率よく吸収させます。



アヅミンの腐植酸は、肥料成分を捕まえる手を持っています。これを陽イオン交換量(CEC)といいます。一般的な土壌のCECが10～30meq/100g程度に対し、アヅミンは約200meq/100gを持っているので、施用により土壌の保肥力を高めることができます。

# 3.作物の根の活性を高めます。

■アツミンの腐植酸には植物ホルモンと似た働きがあり、根の生長点を刺激し、活性を高めると考えます。

【水稻】

【いちご】



【にんにく】

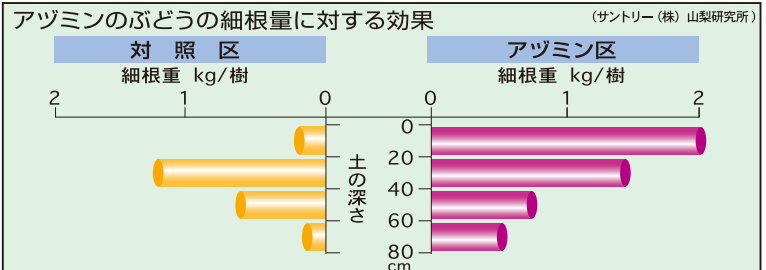


【スイートコーン】

【ナス】



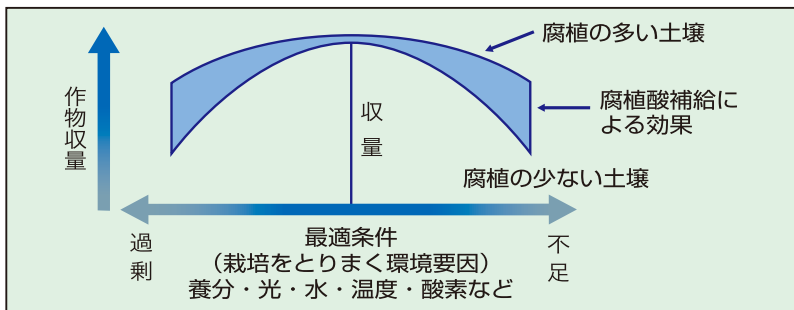
深耕しにくい果樹類でも下層の細根が増大します。





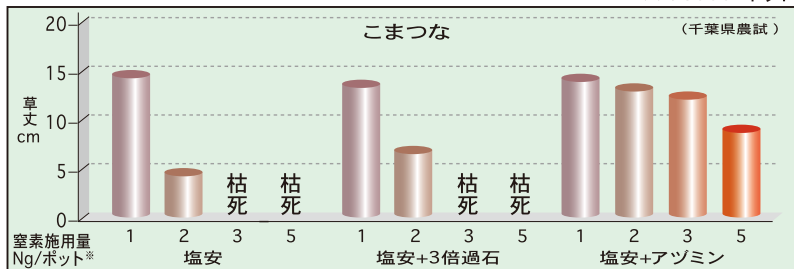
# 4.不良な環境条件で力を発揮します。

アツミンを施用した圃場では、作物の不良環境に対する対抗性が高まります。また、施設栽培だけでなく、露地栽培においてもカリ・硝酸等が過剰になった生育の悪い土壌へ施用すると、その障害を軽減します。これはアツミンが作物の根の活力を向上させ、根量が増大することにより、養分・水分の吸収力が改善されるためと考えられています。



## ■アツミンによる塩類濃度障害の軽減効果

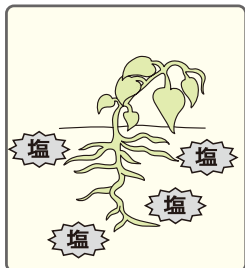
※1/5000aポット



特に施設など塩類濃度が高い土壌で生育を改善し、収量を確保します。

塩害土壌  
(塩濃度の高い土壌)

発根できず生育を  
完全に抑制



除塩した土壌  
(塩濃度の低い土壌)

発根するが残留塩分が  
根の活性を抑制



アツミンの施用

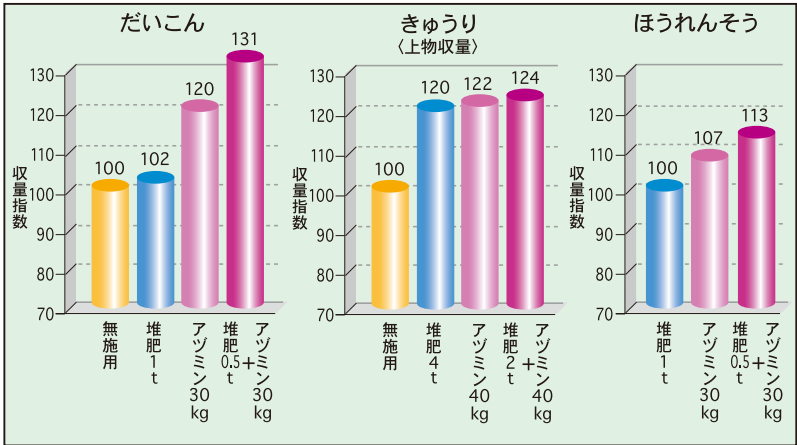
根の活力が向上し  
障害を軽減



【根の活力向上→根量増大→養分・水分吸収力向上→生育障害軽減】

# アヅミンと堆肥の併用

## ■アヅミンと堆肥の併用効果



アヅミンは少量施用で堆肥と同等の化学的改善効果が期待出来ます。堆肥を十分に施用できない場合の代替資材として、腐植酸を補給・強化するのに有効です。また、堆肥の施用量を1/2程度に減らし、アヅミンを30～40kg併用する事で、相乗効果が得られ、施肥の省力化になります。

## アヅミンの使い方

基肥として、下記の基準量を施用して下さい。

水 稲	20～ 40 kg/10a
畑 作 物	40～ 80 kg/10a
果樹・茶	40～100kg/10a(植え穴施用にも有効)
育 苗	培養土に対して0.5～1%程度混和して下さい。

※地域、土壌条件により加減して下さい。

- 他の肥料と混合施肥すれば肥効がアップします。
- 果樹園など耕起しにくい圃場でも表層施肥で効果を発揮します。
- アヅミンの腐植酸は、黒ボクの腐植酸より活性が高く、施用による作物の品質、収量向上が期待できます。

さらに詳しくお知りになりたい方はHPへ

**デンカ株式会社**

TEL.03-5290-5555

<http://www.denka.co.jp/>